

コンクリートの配合設計と品質管理 正誤表

頁	位置	誤	正	修正時点
32	3行	試験練り	試し練り	初版2刷で修正
75	表-5.3	コンクリート標準示方書[施工編]	コンクリート標準示方書[設計編]	2版1刷で修正
86	図-5.6 凡例	W/C=0.49 W/C=0.59 W/C=0.63 W/C=0.68 W/C=0.85	W/C=0.49 W/C=0.69 W/C=0.84 W/C=0.63 W/C=0.59	2版1刷で修正
92	4, 6行	確率	確率密度	初版3刷で修正
93	1行	確率 $N(0)$	$N(0)$	初版3刷で修正
93	2, 3, 4行	確率	確率密度	初版3刷で修正
94	14行	$\sigma_x$ は全供試体	$\sigma_x$ は全供試体	初版2刷で修正
99	下から12行	$\chi^2$ 検定の一種	$\chi^2$ を指標とする検定法	2版1刷で修正
100	下から9行	$P(\chi^2 \geq \chi_0^2) = \alpha$ となる $\chi_0^2$ の値	$P(\chi^2 \geq \chi_0^2) < \alpha$ となる $\chi_0^2$ の最小値	2版1刷で修正
100	下から8行	$\chi_0^2 > \chi_\alpha^2$ であれば	$\chi_0^2 \geq \chi_\alpha^2$ であれば	2版1刷で修正
133	2行	$d$ の違いに	水セメント比が同一で、 $d$ の違いに	初版2刷で修正
156	9行	バイブレータは存在しなかった。	型枠バイブレータはあったが、棒状バイブレータはなかった。	2版1刷で修正
156	9行	叩きと棒突きのみ。	削除	2版1刷で修正
156	10行	高周波バイブレータ(現在と同様のもの)	棒状の空気式バイブレータ	2版1刷で修正
183	下から8行	$3.56/35.05 \times 100 = 10.2\%$	$3.64/35.05 \times 100 = 10.4\%$	初版3刷で修正
183	下から3行	発生確率(確率密度)	確率密度	2版1刷で修正
183	下から2行	発生確率	確率密度	2版1刷で修正
183	表-10.1	標準偏差 3.56	標準偏差 3.64	初版3刷で修正
184	2行	=3.56N/mm <sup>2</sup> より	=3.64N/mm <sup>2</sup> より	初版3刷で修正
184	下から6行	標準偏差 3.56 N/mm <sup>2</sup>	標準偏差 3.64 N/mm <sup>2</sup>	初版3刷で修正
184	下から5行	$-35.05/3.56 = -2.261$	$-35.05/3.64 = -2.212$	初版3刷で修正
184	下から5行	$-\infty \sim -2.261$ の累積確率密度は0.012	$-\infty \sim -2.212$ の累積確率密度は0.013	初版3刷で修正
184	下から4行	不良率は1.2%	不良率は1.3%	初版3刷で修正
193	下から2行	不偏分散を	不偏分散の平方根を	2版1刷で修正
196	図-10.5	$R$ の中心線を未記入	$R = 3.29$ の実細線の水平線を追記	初版2刷で修正
196	図-10.6	$s$ の中心線が一点鎖線	$s$ の中心線を一点鎖線から実細線に変更	初版2刷で修正
198	式(7)の最右項	$dt_2^2$	$d_2^2$	初版2刷で修正
237	3行	×標準偏差	×偶然誤差に起因する標準偏差0	初版2刷で修正
242	13行 式(6)	$\frac{d(\ln q)}{dX} = \frac{d(\ln q)}{d\Delta_i} \cdot \frac{d\Delta_i}{dX}$	$\frac{d(\ln q)}{dX} = \sum_{i=1}^n \left( \frac{d(\ln q)}{d\Delta_i} \cdot \frac{d\Delta_i}{dX} \right)$	2版1刷で修正
243	12行 式(16)	$\frac{d(\ln q)}{dX} = \frac{d(\ln q)}{d\Delta_i} \cdot \frac{d\Delta_i}{dX} =$	$\frac{d(\ln q)}{dX} = \sum_{i=1}^n \left( \frac{d(\ln q)}{d\Delta_i} \cdot \frac{d\Delta_i}{dX} \right) =$	2版1刷で修正
243	14行 式(17)	$\therefore \frac{d^2(\ln q)}{dX^2} = \frac{d(\ln q)}{dX} \cdot \frac{d\Delta_i}{dX} =$	$\therefore \frac{d^2(\ln q)}{dX^2} = \sum_{i=1}^n \left( \frac{d^2(\ln q)}{dX \cdot d\Delta_i} \cdot \frac{d\Delta_i}{dX} \right) =$	2版1刷で修正